

令和3年度第1回甲賀市商工業振興計画審議会 会議録

開催日時：令和3年5月28日（金） 15：30～16：30

開催場所：甲賀市役所別館 会議室101

出席委員：＜委員＞別紙委員名簿に記載

事務局：＜市＞松下泰也商工労政課長、近藤基博商工労政課係長
立岡直樹商工労政課主査
司会：松下課長

会議次第：1. 開会

2. 挨拶

3. 協議事項

(1) 「甲賀市商工業振興計画の見直し（素案）について（答申案）」

資料1

(2) 今後のスケジュールについて

資料2

4. その他

5. 閉会

1. 開会

事務局

- ・ 本日はお忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。それでは、定刻となりましたので令和3年度第1回商工業振興計画審議会を開催させていただきます。

会議に先立ちまして、市民憲章の唱和をお願いします。ご支障のない範囲でご起立ください。市民憲章につきましては、次第の裏面にあります。私が、前文を読み上げますので、引き続きご唱和いただきますよう、よろしくお願いいたします。

甲賀市市民憲章唱和

- ・ どうもありがとうございました。ご着席ください。それでは、改めまして本審議会の開催にあたり、委員長より一言ご挨拶をいただきます。よろしくお願いいたします。

2. 挨拶

肥塚委員長

- ・ こういった場であいさつをさせていただくことが多いのですが、やはり新型コロナウイルスの収束にはまだまだ時間がかかるのではないかと感じております。高齢者の方にはワクチンが始まっていますが、かなり、かかるのではないかと感じております。私は滋賀県の在住者ですが、勤務先は大阪でございますので、毎日大阪に通っており、大阪、兵庫、京都が6月20日まで緊急事態宣言の延長という事態が続いています。感染はもちろん減っていくのが望ましいですが、経済は厳しい状態が続いているとひしひしと感じております。大阪の梅田の地下街とかは、ビジネススクールの教室があるので行きますが、3～4週間ずっと閑散としていました。それが今の経済を現しているのではないかと思います。他方で、今日はリモートでのハイブリットとなっています。収束しても働き方改革としてリモートワークが進展すると思っております。例年であれば、海外に行って模擬授業とかするのですが、今年はリモートで中国の大学で授業をしたり、来週は台湾の大学から依頼があって、リモートの特別授業でやらせていただきます。いろいろと地域の壁とか国境とか越えて、いろいろな活動がデジタル化されていくことがどんどん普通になっていくと予想されています。今回、商工業振興計画をグローバルの中でどのように進めていくのが重要であると考えております。

以上、簡単ではございますが、挨拶とさせていただきます。

事務局

- ・ ありがとうございます。それでは議事に入る前に、委員の交代がございましたので、紹介をさせていただきたいと思っております。まずは水口金融協議会様 滋賀銀行

水口支店 小泉支店長様にお受けいただきましたので皆様よろしく申し上げます。

委員

- ・ 皆様、よろしくお願いいたします。

事務局

- ・ それともうお一人、甲賀職業安定所 所長 今宿様。人事異動により着任されましたので当審議会の委員としてよろしくお願いいたします。

委員

- ・ よろしくお願いいたします。

事務局

- ・ それでは議事に入らせていただきます。審議会の規則では、議長は委員長と規定しておりますので、これからの議事は委員長にお願いしたいと思えます。

委員長

- ・ それでは、最初に審議会の成立について、事務局より報告願います。

事務局

- ・ 審議会の成立について、ご報告をさせていただきます。本日の審議会につきましてはオンラインでのご参加も含め、13人中9人の委員様にご出席いただいておりますので、会議開催の要件を満たしていることを報告させていただきます。以上でございます。

3. 協議事項

委員長

- ・ そうしましたら、協議事項でございます。1番目、甲賀市商工業振興計画の見直し素案、答申案について、前回、確認もいただきましたので、おさらいも含めまして事務局の方からご説明お願いいたします。

事務局

- ・ 事務局より資料1 甲賀市商工業振興計画審議会見直し素案について説明

委員長

- ・ 資料1の方でございますが、甲賀市商工業振興計画見直し素案につきまして、皆さんからさらにご意見、ご質問をいただきたいなと思っております。いかかでしょうか。

委員

- ・ 意見なし

委員長

- ・ 書きぶりで気になりましたのが13ページの基本目標指標の文面です。数字はどのようにされるということですが、先ほどのお話では甲賀市の市税、経済状況に合わせて2020年推計が前回より厳しい数字にされていると思いますが、文章を読ませていただきますと、2020年度の名目GDPが2023年になっているとして、予想しか書かれていない。これはこれで、遅くなって達成されると読み取れる。しかし、13ページの経済活動市内総生産、14ページの進捗評価指標を前回から修正されているのは、国全体はそうだけでも、地方経済とか甲賀市内の経済状況がより厳しいということが書かれていない。文書表現として加筆していかないと、説明が厳しいと思われれます。

事務局

- ・ ありがとうございます。事務局で修正させていただきたいと思います。

委員長

- ・ ほかにございますか。今までご意見を伺ったところは加筆していただいておりますが、ご意見はありますか。案だけでなく、こういったことをしていけば、いいのではないかという意見をいただければと思います。いかがでしょうか。

委員

- ・ ものすごく細かいところですが、14ページの信楽焼生産額のところで一人当たりと書かれていますが、我々はわかるのですが、ぱっと見たときに何に対して一人当たりかが分かりにくい。市民一人なのか勘違いされるといけないので、生産者一人当たりとか入れていただくと分かりやすいと思います。

事務局

- ・ 混乱を招かないように修正させていただきたいと思います。

委員長

- ・ そうですね。何に対して一人当たりなのか分からないので、わかりやすい形でなんとかの一人当たりと修正していただければと思います。続きまして、ほかに意見があればお願いします。

委員

- ・ 市内観光消費額ですが、私は観光振興計画審議会もやっております、それと数字が違う。もう少し下方修正されていると思います。

事務局

- ・ 確認をさせていただきます。

委員長

- ・ それでは確認をお願いします。他にご意見は何かでしょうか。

事務局

- ・ 資料2 甲賀市商工業振興計画実施プラン（案）について説明。

委員長

- ・ こちらの実施プラン（案）では、かなり詳細に色々な点が記されております。皆様方に関係するところも、関係しないところ含めましてご指摘、ご意見いただければと思います。ないでしょうか。

なければせっかくですから一言だけ。DXのことも先ほど、あいさつの中でさせていただきましたが、カーボンニュートラルについてもいろいろな動きをされていて、パナソニックさんは2030年にCO2排出量をゼロにすると報道されたり、今、アップルショックと言われていて、アップルさんが2030年までにCO2をゼロにしない企業とは契約しないことを事実上宣言されています。すごい動きになっています。地球温暖化がやっぱり、待ったなしだということが反映していると思います。CO2の排出をゼロにしていく、前倒し、していくことがどんどん加速していき、前倒し競争になってきています。CO2をゼロに出来ないと、そのこと自身が取引の停止につながっていくということです。日本は電子部品を含めて、さまざまな部品が大変強いのですが、グローバル・サプライヤーネットワークから日本が排除されていくこと懸念が、強くなってきています。こうした事態は、甲賀市の商工業にとりましても、とりわけ工業において、すごいインパクトがあると思っています。以上です。

それでは、いくつか修正、加筆がございましたが、それについては委員長に一任をさせていただければと思います。よろしいでしょうか。

委員

- ・ 異議なし

委員長

- ・ それでは、修正、加筆を事務局でしていただいた上で、私のほうで確認していき

たいと思います。それでは、当日資料の答申案について説明願います。

事務局

- ・ 答申案について説明。
答申 令和3年6月1日 午前10:30～

委員長

- ・ ありがとうございます。この件についていかがでしょうか。このとおり答申させていただけますでしょうか。

委員

- ・ (意見なし)

委員長

- ・ それでは、この件につきましてこのような形で進めさせていただきます。続きまして、今後のスケジュールについて説明願います。

事務局

- ・ スケジュールについて説明。

委員長

- ・ そうしましたら、次第にある議案は以上でございます。円滑な議事進行ご協力いただきましてありがとうございました。進行を事務局へお返しいたします。

事務局

- ・ 長時間にわたりありがとうございました。ご意見を賜った後に、パブリックコメントを進めていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。それでは、これをもちまして商工業計画審議会を閉じさせていただきたいと思います。どうもありがとうございました。